

## 教員一覧

(2018年7月1日現在)

### ■ 所長

小松 和彦

文化人類学、民俗学、口承文芸論

### ■ 副所長

荒木 浩  
劉 建輝

日本文学  
日中文化交流史

### ■ 教授

磯前 順一  
伊東 貴之  
稲賀 繁美  
井上 章一  
牛村 圭  
大塚 英志  
倉本 一宏  
関野 樹  
瀧井 一博  
坪井 秀人  
パトリシア・フィスター  
ジョン・ブリン  
細川 周平  
松田 利彦  
安井 眞奈美  
山田 奨治  
マルクス・リュッターマン

宗教学、批判理論  
中国思想史、東アジア比較文化交流史  
比較文学比較文化、文化交流史  
風俗史  
比較文学、比較文化論、文明論  
まんが表現史、まんが創作論、近代文学史  
日本古代史、古記録学  
情報学  
国制史、比較法史  
日本近代文学・文化史  
日本美術史  
日本の近代史  
音楽学、日系ブラジル史  
日朝・日韓関係史  
日本民俗学、文化人類学  
情報学、文化交流史  
日本中世社会史・記号論・心性史・言動史

### ■ 准教授

磯田 道史  
榎本 涉  
楠 綾子  
フレデリック・クレインス

日本史学  
中世国際交流史  
日本政治外交史、安全保障論  
日欧交流史

### ■ 助教

石川 肇  
呉座 勇一  
白石 恵理  
古川 綾子  
吉江 弘和

日本近代文学  
日本中世史  
日本美術史(近世)  
日本芸能史  
近現代日本史

### ■ 特任助教

石上 阿希\*  
前川 志織

近世文化史  
日本近代美術史、デザイン史

### ■ 顧問

梅原 猛



※人間文化研究機構 総合人間文化研究推進センター 特任助教  
(併任 国際日本文化研究センター 特任助教)

## 交通案内



### 阪急桂駅(西口)から

- 京都市バス「西5」「西6」で約30分
- 京阪京都交通バス「20」「20B」で約20分
- タクシーで約15分

### JR桂川駅から

- ヤサカバス「1」「6」で約30分
- タクシーで約20分
- JR桂川駅までは、JR京都駅から大阪方面行き(普通)に乗車約5分

### JR京都駅(烏丸中央口)から

- 京阪京都交通バス「21」「21A」「26」で約45分

バスはいずれも「桂坂中央」行き、「桂坂小学校前」  
又は「花の舞公園前」下車で徒歩約5分

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地  
TEL (075) 335-2222(代) / FAX (075) 335-2091

<http://www.nichibun.ac.jp/> 日文研 検索

表紙: 建築家 内井昭蔵氏による日文研設計時のイメージスケッチ



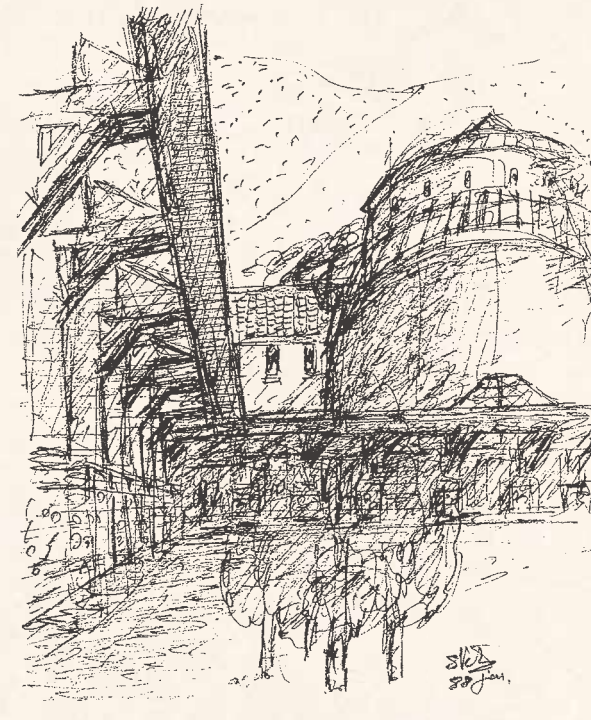
National Institutes for the Humanities  
International Research Center for Japanese Studies

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

# 国際日本文化 研究センター

## 2018

### 概要



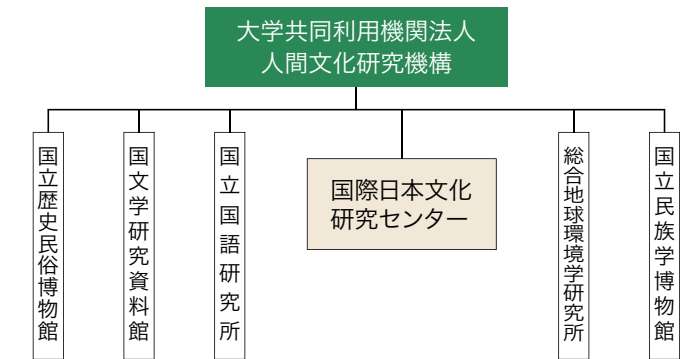
## 日文研とは

国際日本文化研究センター(以下、日文研)は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うことを目的として1987年に設置されました。

日文研は、日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究するとともに、外国の日本研究者を支援するという大切な使命をもった大学共同利用機関です。この使命を推し進めるために、国内外から参加する多様な専門領域の共同研究員による、分野横断的な日本文化に関する研究を展開しています。

また、海外から人文・社会科学等の諸分野の研究者を招いて最新の成果や情報に基づく自由で創造的な研究活動を行うとともに、その情報を発信するなど、日文研は、日本研究の国際的拠点としての役割を担っています。

## 組織



## 日文研の役割

1. 日文研は、国際的・学際的・総合的な観点から、日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究に取り組んでいます。
2. 共同研究は、「重点共同研究」「国際共同研究」「基幹共同研究」という3領域のもとに、柔軟な組織・運営により推進しています。
3. 世界各地の日本文化の研究者・研究機関に、研究情報を発信するとともに、実情に応じた研究協力を行っています。
4. 研究成果は、和文・英文による図書・学術雑誌、講演会、シンポジウムなど様々な形で広く国際社会に提供しています。
5. 総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻・博士後期課程では、次代の研究者養成に努めています。また、国内外の大学院生・留学生を受入れて指導しています。

## 所蔵資料



### 図書館

日本研究に必要な各種資料を幅広く収集し（図書資料約54万冊）、国内外の研究者の利用に供するとともに、様々な情報を提供しています。利用者は図書を自由に手にとって閲覧することができます。外部の方でも、学術研究・調査等を目的とする場合であれば、事前申請のうえ閲覧が可能です。



（朝鮮風俗）家庭  
（朝鮮写真絵はがきデータベースより）



Het koninkryk Japan  
（1735年版の西洋古版日本地図）  
【日文研所蔵】

### データベース

日文研は、所蔵する日本研究資料、所員の研究成果をはじめ、他機関所有の日本研究資料などのデータベースを作成しており、現在47種類をウェブで公開しています。

※2018年7月1日現在



データベースの一例

## 活動

### 研究活動

#### 個人研究 基礎研究 共同研究

日文研の中心的な活動は共同研究であり、国際的観点から研究テーマを設定し、国際的・学際的な体制のもとに総合的に研究を行っています。この活動の中で成果を世界に向けて発表する機会として「国際研究集会」があり、この集会は世界各地の日本文化研究者との交流の場としても位置づけられています。

### 研究協力活動

#### 国際研究協力

海外の日本研究機関との共催等により「海外シンポジウム」などの国際的研究協力活動を実施しています。「日文研フォーラム」や研究会形式の各種セミナーなど、発表と交流の場を提供し、その他さまざまな研究支援を実施しています。

#### 情報の収集・整理・提供

収集する主な情報には次のようなものがあります。

- ・外国語で書かれた日本研究図書
- ・日本研究関連の文献目録及び映像・音響資料
- ・海外における日本研究者・研究機関に関する情報

これらの情報はデータベース化され、多目的な検索システムにより、迅速にアクセスすることができます。

### 普及活動

#### 研究活動の成果の出版

『日本研究』、*Japan Review*、『日文研叢書』、*Nichibunken Monograph Series*、『国際研究集会報告書』などを出版しています。

#### 広報誌の出版

『日文研』、*Nichibunken Newsletter*などを出版しています。

#### 一般市民への発信

学術講演会、公開講演会、日文研フォーラム、一般公開、日文研・アイハウス連携フォーラムなどを開催しています。

◆詳細は日文研ホームページでも発信しています。

## 共同研究

### 2018年度 共同研究一覧

（2018年7月1日現在）

研究課題	研究代表者
投企する古典性——視覚／大衆／現代	教授 荒木 浩
「運動」としての大衆文化	教授 大塚 英志
音と聴覚の文化史	教授 細川 周平
応永・永享期文化論——「北山文化」「東山文化」という大衆の歴史観のはざままで——	客員准教授 大橋 直義 助教 呉座 勇一
万国博覧会と人間の歴史	客員教授 佐野 真由子
差別から見た日本宗教史再考——社寺と王権に見られる聖と賤の論理	教授 磯前 順一 客員准教授 吉村 智博
東西文明論——日本を東西の中間地として、懸け橋という特殊な使命を与える言説の分析	外国人研究員 ディック・ステゲウエルス
中国近代革命の思想的起源——日本からの思想的影響を中心に 明治日本の比較文明的考察——その遺産の再考——	外国人研究員 楊 際開 教授 瀧井 一博
身体イメージの想像と展開——医療・美術・民間信仰の狭間で	教授 安井 眞奈美 外国人研究員 ローレンス・マルソー
比較のなかの東アジアの王権論と秩序構想——王朝・帝国・国家、または、思想・宗教・儀礼——	教授 伊東 貴之
多文化間交渉における『あいだ』の研究	教授 稲賀 繁美
近代東アジアの風俗史	教授 井上 章一 共同研究員 斎藤 光
説話文学と歴史史料の間に	教授 倉本 一宏
「かのように」という原理で形成してきた文通——「文書」概念や、その様式、記号、表象、意図性	教授 マルクス・リッターマン
縮小・分断・貧困社会の文化創造	教授 山田 奨治
日本における法・政治・宗教の相互関係——近代世界・現代世界との比較の視座による研究	客員教授 荻部 直



最近の日文研出版物



第65回学術講演会

## 2017年度 活動の記録

2018年度の活動についてはお問い合わせ下さい。

\*は一般の方の参加が可能なものです。

活動一覧		
2017年4月	日文研フォーラム*	着衣改造の近代——わが母の服装観から見る日中衣装変遷史
5月	日文研フォーラム*	三つの「赤い」と二つの「寒い」から、方言を考える——方言と言語類型論の出会い
	シンポジウム	なぜ国際日本研究なのか
	創立30周年記念講演会*	日文研と私——回顧と展望 日本研究の諸問題——歴史と歴史学をめぐる省察
	創立30周年記念イベント*	映画「ハッピーアワー」上映&監督・主演女優トーク
6月	日文研フォーラム*	筆談で見る明治前期の日中文化交流
7月	日文研・アイハウス連携フォーラム*	谷川道雄の中国史研究から日中の未来を考える——文化交流と学術思想
	国際シンポジウム	——近世期絵入百科事典データベース公開記念—— 書物にみる絵とことばの350年
	日文研フォーラム*	明治の建築家 伊東忠太 オスマン帝国土産話
	日文研シンポジウム*	妖怪データベースからの創造——公開15周年記念シンポジウム
9月	日文研フォーラム*	千二百年前の文化交流——入唐日本人の生活と交友
	学術講演会*	▶柳田國男と日本国憲法——主権者教育としての柳田民俗学 ▶内藤湖南、広仁の乱を論じる
10月	日文研フォーラム*	日本とベトナムのコミュニケーション文化——「出会い」と「別れ」の挨拶、「ほめ」と「断り」の発話行為を中心に
	国際研究集会 一般公開*	植民地帝国日本における知と権力 日文研の30年
11月	海外シンポジウム	Japanese Studies After 3.11
	日文研フォーラム*	桂離宮の地霊（ゲニウス・ロキ）——近世の庭園における古代の神話と文化
12月	シンポジウム	1950-60年代転換期のサークル運動の位相——「職場の歴史」「サークル村」「母の歴史」などに 関連して
	日文研・アイハウス連携フォーラム*	Ornamental Diplomacy —Emperor Meiji and the Monarchs of the Modern World
	日文研フォーラム*	「Japan Tea ブランド」の構築——太平洋を渡った緑茶
2018年1月	日文研フォーラム*	観音さまを抱きしめる——西国三十三所巡礼の旅
	日文研・アイハウス連携フォーラム*	光源氏と（二人の父）という宿命——ブツダの伝記が照らし出す「源氏物語」の視界——
2月	共同シンポジウム	国際日本文化研究センター・京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター共同シンポジウム 「浪花節と講談の関係を探る」
	日文研フォーラム*	悠久なる郷（ふるさと）の響き——黄檗声明の中国的要素
3月	国際研究集会	戦後日本文化再考
	日文研フォーラム*	明治の人々を科学に導いた福澤諭吉の絵入り教科書——「訓蒙窮理図解」をひもとく
	学術講演会*	▶反転する井伊直弼——マッカーサーと大河ドラマのつながり ▶パラオの女性首長が見た日本
	シンポジウム	「国際日本研究」と教育実践